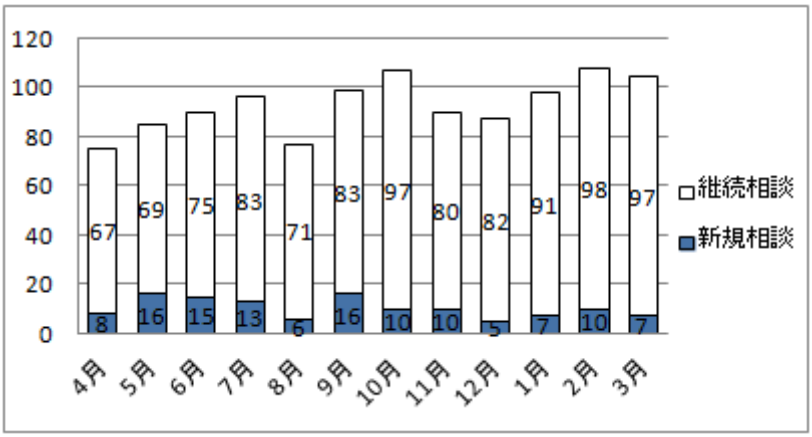
資料 2

平成 26 年度「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」の状況

【H26 年度月別延べ相談件数】

新規相談が 123 件、継続相談が 993 件、合計延べ相談件数は 1116 件でした。

新規相談は毎月 10 件前後あり、継続相談は昨年度からの引き継ぎを含め件数は増加傾向です（H25 年度は、新規相談が 200 件、継続相談が 488 件、合計延べ相談件数が 688 件）。



【場所】

○　枚方市役所子ども青少年課内

H27 年 1 月より、枚方市役所別館 1 階から 5 階へ移動しました。安心して相談していただけるよう、専用の相談室も引き続き設置しています。

【相談員】

○　臨床心理士等の専門相談員が対応

社会福祉士 1 名、臨床心理士 2 名の 3 名体制で対応しています。

相談員のスキルアップのため、月に 1 回ひきこもり等の支援について外部講師より助言をもらうスーパーヴァイズを実施し、各種研修へも参加しました。また、相談員同士の情報共有の場を月 1 回程度、枚方若者サポートステーションとの共有会を月 1 回程度行い、相談員を支えるしくみ作りにも取り組みました。

【相談方法】

○　電話相談と面接相談

	電話相談	面接相談
H26年度	87	1029
H25年度	148	540

H26 年度は、電話相談が 87 件、面接相談が 1029 件でした。H25 年度と比べると、直接お会いし時間をかけて相談をお受けする支援が積み重なっていると言えます。

専用電話を設置し、面接相談の予約と、電　話相談の対応をしています。

【相談対象者】

＜年齢＞

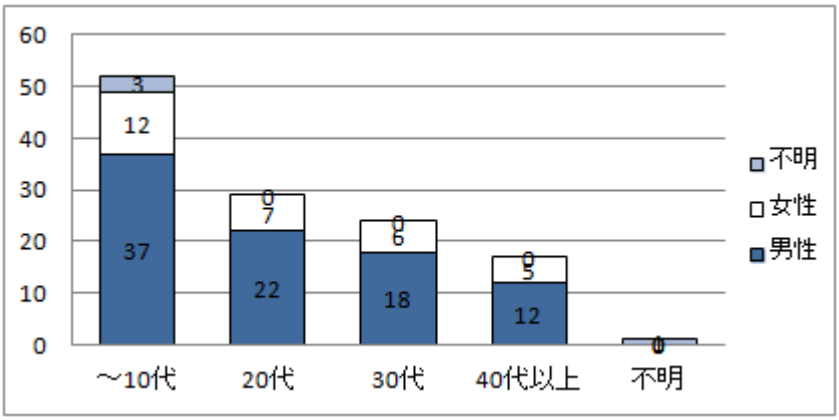
○　相談対象は、おおむね 15 歳（中学卒業後）から 39 才まで

（40 代以上の方のご相談もお受けしています。）

H26 年度は、10 代が一番多く、20 代、30 代と続きます。15 歳から対象ということを考えると、10 代の多さは特徴的です。また、一定数 40 代以上の方の相談もあるという現状がみられました。約 7 割が男性対象者についての相談でした。

年齢(代)×性別

	～10代	20代	30代	40代以上	不明	計	
男性	37	22	18	12	0	89	72.4%
女性	12	7	6	5	0	30	24.4%
不明	3	0	0	0	1	4	3.2%
計	52	29	24	17	1	123	
	42.3%	23.6%	19.5%	13.8%	0.8%		

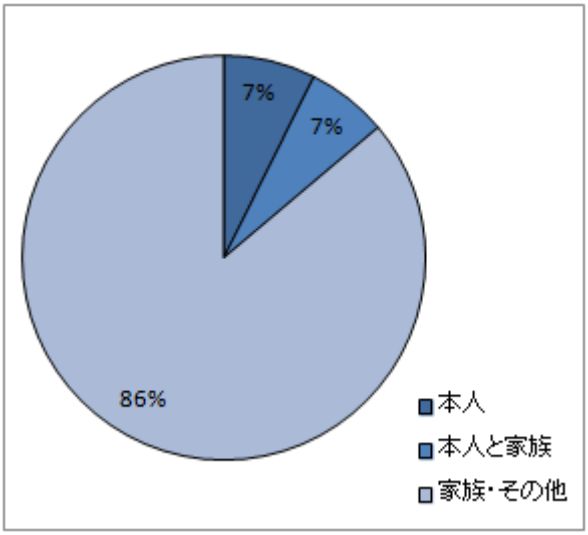


＜相談者＞

○　相談は、ご本人とご家族、関係者の方が対象

―初回相談者―

本人	9	7.3%
本人と家族	8	6.5%
家族･その他	106	86.2%
計	123	



初回相談は、86.2%がご家族からです。家族支援の重要性を感じます。まずはご家族との定期的な継続相談を続け、ご本人への関わり方を一緒に考えたり、来所に誘っていただいたりと、ご家族からの働きかけを支援します。徐々にご本人とつながっていくことを目指していきます。

―機関連携―

ご本人またはご家族の了承のもと、他機関より事前連絡があり、新規に相談を受けたケースも数件ありました。

（例）生活福祉室、市民相談課、家庭児童相談所、障害福祉室、地域包括支援センター、人権まちづくり協会、ＤＶ相談室　等

＜居住地＞

市内	106	86.2%
市外	6	4.9%
不明	11	8.9%
計	123	

対象は市内在住の方ですが、市外の方からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行うまでの対応をしています。

【相談内容】

○　相談内容は、ひきこもり、ニート、不登校に関するものが対象

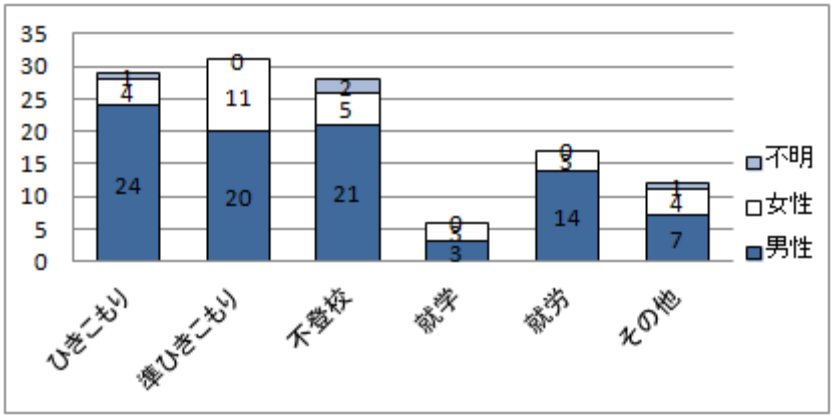
H26 年度の相談内容は、ひきこもりと準ひきこもり相談が合わせて 42.0%、続いて不登校相談が 18.5%、就労相談が 15.9%でした。

ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計
31	35	29	6	25	31	157
19.7%	22.3%	18.5%	3.8%	15.9%	19.8%	

（相談内容の複数選択あり）

性別×内容①

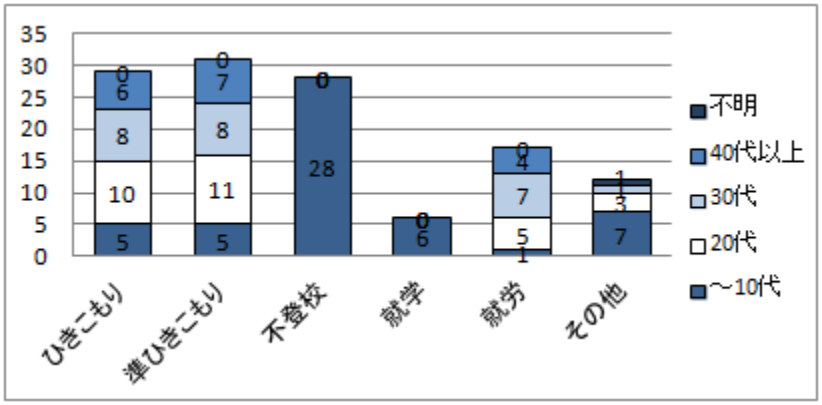
	ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計	
男性	24	20	21	3	14	7	89	72.4%
女性	4	11	5	3	3	4	30	24.4%
不明	1	0	2	0	0	1	4	3.2%
計	29	31	28	6	17	12	123	
	23.6%	25.2%	22.8%	4.9%	13.8%	9.7%		



ひきこもりと準ひきこもり相談、就労相談は、20 代と 30 代が中心ですが、それぞれ各年代からの相談がありました。10 代の不登校相談の多さは特徴的でした。

年代×内容①

	ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計	
～10代	5	5	28	6	1	7	52	42.3%
20代	10	11	0	0	5	3	29	23.6%
30代	8	8	0	0	7	1	24	19.5%
40代以上	6	7	0	0	4	0	17	13.8%
不明	0	0	0	0	0	1	1	0.8%
計	29	31	28	6	17	12	123	
	23.6%	25.2%	22.8%	4.9%	13.8%	9.7%		



※上記、性別及び年齢と、相談内容別の件数は、主な相談内容をひとつにして集計しています。

【支援内容】

○　1回の電話及び面接相談で、助言や適切な窓口につないで終了したケース

新規相談 123 件中、59 件でした。終了の例としては、適切な支援機関の情報提供や資源の整理、家族の関わり方についての助言を行ったものなどです。

（情報提供支援機関）地域若者サポートステーション、枚方市保健所、教育委員会「子どもの笑顔守るコール」、家庭児童相談所、枚方公園青少年センター、家族会、他市相談窓口など（多かったものを抜粋）。

○　複数回の相談を重ねて助言や他機関へのつなぎ及び、継続相談となっているケース

新規相談 123 件中、64 件でした。

（H25年度からの継続相談も含め）	
H27.3.31時点で継続相談中	72
本人と継続相談中	36
家族と継続相談中	56
（内）本人と家族と並行で継続相談中	20

H27.3.31 時点で継続相談中のケースは72件です。その内、ご本人と継続相談中が 36 件、ご家族と継続相談中が 56 件です。ご家族とご本人両方の相談をお聴きしているケースも 20 件あります。

○　訪問支援

家庭訪問	40
同行訪問	18
	58
自宅近隣まで出向いて面談	3

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。

ご自宅へ伺って、ご本人のお話をお聴きする家庭訪問は、40 件ありました。ご本人を守っている家庭の中へ入っていく方法ですので、まずはご家族との相談を重ね、ご本人の了承を得た上で、慎重に行っています。

一人では難しいが相談員の手助けがあれば、次の新しい機関へ行くことができる場合は、ご本人と一緒に各窓口に同行する支援も行いました。また、ご家族と一緒に他の機関へ同行させていただいて、引き継ぎを行ったり、説明を聴かせていただくこともあります。このような同行訪問は、18 件ありました。

また、自宅近隣であれば会うことができるという場合には、生涯学習市民センター等を利用して、そこまで出向いて面談を行ったものが 3 件ありました。

（同行訪問先）ご家族…保健所など

ご本人…地域若者サポートステーション、ハローワーク、市役所各窓口、福祉関係事業所、散策など

○心理検査の活用

ご本人との面談の中で、自分理解を深めるヒントとして心理検査を活用したケースが、2件（3種類）ありました。

○居場所支援「ひらぽ」

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとするためのスモールステップとしての居場所支援「ひらぽ」をH26年6月より、枚方公園青少年センターにて開始しました。相談支援センターの相談者を対象に、相談員との1対1の関係からスッテップアップし、5、6人の集団での活動を通して社会とのつながりを築いていくことを目指します。実際の活動においては、専門のコーディネーターを設置し、25年度に実施した「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド（登録者18名）の協力を得て、料理やゲーム、スポーツや施設見学などの活動を行いました。

その中で、少しのストレスと少しの傷つきを体験し、つまずいても起き上がれる少しの強さを身につけていってほしいと思っています。居場所支援と並行して、個別の面接相談も継続し、ひとりひとりに合った目標を決めたり、体験した出来事を整理したりしています。

H26年度は、毎週水曜日と、1月からは月に1回（最終金曜日）開催日を拡充し、開催が43回、参加延べ人数は70人でした（実人数7人）。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所回数	4	5	3	4	5	4	4	5	4	5	43
参加延べ人数	4	6	4	10	9	7	7	7	8	8	70

また、居場所支援に携わってくださるサポートフレンド対象の研修を、月1回行っています。その他、子ども・若者にかかわる研修をサポートフレンド研修と位置づけ案内したり、NPO法人ホースフレンズ事務局（枚方若者サポートステーション、子ども・若者自立支援センター）と合同の交流研修会（11／29）も行いました。

居場所支援「ひらぽ」を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報するため、H26年12月より通信「ひらぽう」の発行を開始しました。H26年度は2報作成し、相談利用者や各関係機関へ配布しました。

○家族の会

実施回数	8
参加延べ人数	31

H26年7月より、月に1回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。

26年度は実施が8回、参加延べ人数は31人でした。

自由に思いを語り合う時間を中心に、ひきこもり等の背景に関わる話題や、将来のための制度について等、職員から話題提供を行う時間も合わせて設けました。

7月	自己紹介
8月	自己紹介、近況報告
9月	近況報告
10月	近況報告
12月	発達障害について①（入門編）、意見交換
1月	居場所支援「ひらぽ」について、意見交換
2月	発達障害について②、意見交換
3月	福祉の制度について（障害福祉を中心に）、意見交換

ひらぽう

第1報（ぽう）
（平成26年12月）

6月より居場所支援「ひらぽ」がスタートしました。ボランティアスタッフであるサポートフレンドさんと共に、若者メンバーのみなさんがひらぽに参加してくれています！

子ども・若者相談支援センターの相談員と相談をしながら、次の一歩（いっぽ）としていろいろな体験を一緒に重ねていきたいなぁと思っています。

○時間：毎週水曜日14時～16時
○場所：枚方公園青少年センター和室
○メンバー：若者のみなさん（一度に2、3人の参加です）・サポートフレンド・コーディネーター
○内容（例えば…）
トランプ、ボードゲーム大会、手芸やコラージュなどアート活動、クッキー作り、お茶会や河川敷でスポーツなど…11月はぎょうざを作って食べました！

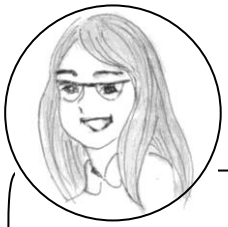
☆サポートフレンドの紹介☆

事前に養成講座を受講した市民ボランティアさん。居場所に参加して、一緒に泣いたり笑ったり。困ったときの頼もしい相談相手です。子ども青少年課の職員もコーディネーターとしてバックアップします。

イラスト：三浦さん

のんびり、まったりいい休日ですね。
三浦久美子

楽しく過ごしましょう
矢嶋千景



わちゃわちゃ楽しくやってます♪
田中　芳奈

気楽に過ごしたいですね!!
古田　綾え

のびのびいつつ、ちょっとの刺激を。楽しく元気になれる場を目指してます。
コーディネーターの南波です

サポートフレンド研修会＆交流会を行いました！

11 月 29 日、山田池公園にて、子ども・若者自立支援センター（枚方若者サポートステーション／ホースフレンズ事務局）の皆さんと合同で、研修会＆交流会を開催し、お互いの居場所支援の紹介と意見交換を行いました。

実際の支援の中での工夫や、若者の皆さんへの想い、活動の中で湧いてくるスタッフやサポートフレンド側の不安ややりがい等々…を共有することができ、今後の活動にもつながるとても充実した時間を過ごすことができました。

あいにくの雨で、予定していたバーベキューは中止となりましたが、お弁当を食べながら、ホースフレンズ事務局から中間的就労の場づくり事業の紹介もしていただきました。

ひらぽ 12 月の予定

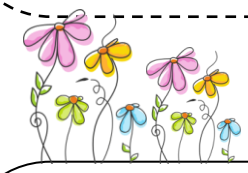
12 月は最終日にクリスマス会を予定しています❄ それまでの回で、飾り作りなど、みんなで準備（気持ちも！）をしていきたいと思っています☺

3 日　クリスマスリース作り
サポートフレンドさんに教えてもらいながら布でリースを作ります。松ぼっくりや鈴でデコレーション。クリスマス会での飾りに使います。

10 日　クリスマスツリーと飾りつけ作り
クリスマスツリーを手作りしよう？！できあがるのかお楽しみに。

17 日　教会訪問
カトリック枚方教会を訪ねます。本物に触れてみる機会も素敵ですね。

24 日　クリスマスパーティ
これまでに作ったリースなどで部屋を飾り、簡単なおかしを作ってみんなでお茶にしようと予定しています。



家族の会の予定

相談に来てくださっているご家族が集まり、お互いの体験を語り、聴き、聴いてもらう場です。相談員から情報や話題の提供をする時間も予定しています。

〇日にち：12 月 12 日（金）
　　1 月　9 日（金）
　　2 月 13 日（金）
〇時間：14 時～16 時
〇場所：ラポールひらかた

ご利用の際はまずはご相談から。。。

発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター
住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20
枚方市役所別館 1 階・子ども青少年課内
電話：843-2255　／　FAX：843-2244

ひらぽう

第２報
（平成 27 年２月）

１月の居場所支援「ひらぽ」は、初めて枚方を飛び出して伏見の大倉記念館まで社会見学へ行きました。また、体力つくりもかねて、JOJO 体操（漫画『JOJO の奇妙な冒険』の特徴的なポーズを取り入れた体操）に挑戦しました！

新しいことにも取り組んでみる方、今の自分の感じに合ったものを選んで参加してみる方、さまざまです。若者メンバーの皆さんひとりひとりのペースに合わせて、ひらぽを利用していってもらえればと思っています。　（↓メンバーさん手作りの消しゴムはんこです↓）

≪1 月のひらぽ≫

７ 日：消しゴムはんこ作り
14 日：自由行動
21 日：JOJO 体操
（体力つくり）
28 日：おとなの社会見学
（大倉記念館）

こんにちはサポフレです。

サポートフレンドの古田です。普段は不登校の子どもの居場所づくりや相談業務に携わっています。
「ひらぽ」に参加して４か月経ちました。居場所ではボードゲームをしたり、体を動かしたり、創作活動などを通じて参加者さんと一緒に時間を過ごしています。他の人と関わる力が培われていけばと思いながら、できる限り水平で自然な人間関係を作ることを意識しています。

大きなイベントもあったりします。12 月はクリスマス会を行いました。当日以外でも、事前準備としてイベント用の飾りなども作成しました。「準備したからクリスマス会もきた」というような参加者さんもおられたようで、継続的な活動の意義があったと思います。今後も、継続的な活動を通じて参加者さんが居場所に愛着や居場所感を深めていって欲しいです。

週１回の開室と頻度は多くないものの、その中で参加者のみなさんが少しずつ緊張を解いていき、自己表現し始めました。「自己表現していい」という感覚は安心感の表れでしょう。共に過ごしながら言葉や感情を交流させることで、参加者さんが信頼感や人と関わる力を育んでいく「居場所のチカラ」というもの感じています。

コーディネーターさん、フレンドさん、他の参加者さんとの関わりの中で生まれたその感覚を今後も継続的に育みながら、関わりあうことの楽しさやその中で自分が他人に必要とされているという経験を積み重ねられる場にしていくことに貢献できればと思っています。

事前に準備した手作りリース

レシピを教えてもらって作ったクリスマスケーキです。
おいしくできました ☺

ひらぽ２月の予定

寒い日がつづきます⛄暖かい部屋の中でのんびりじっくり過ごしませんか☺

４日　映画鑑賞

プロジェクターでスクリーンに映して、ホームシアター気分で映画鑑賞です。

18日　自由行動

月に１回は自由行動の日があります。トランプや折り紙などそれぞれが
やりたいことを選んで過ごします。もちろん、“何もしない”もありです！

25日　ステンシルアート

好きなイラストや図柄を切り抜いて、スプレーインクで写します。
何日か回数をかけて制作していきます。完成が楽しみですね。

ーひとりひとりが自分らしくー
子ども･若者支援のための市民連続講座を開催します。

ひきこもり等の支援について市民の皆様により知っていただく機会となればと、昨年に引き続き連続講座を開催します。

日程とテーマは下記のとおりです。詳細と申し込みは子ども青少年課まで。

日程	テーマ（講師）
①3月6日(金)	若者の自立・就労支援「有給職業体験」バイターン等 （(株)シェアするココロ代表取締役・石井正宏さん）
②3月10日(火)	ひきこもりつつ育つー若者の可能性に学ぶー （立命館大学教授・山本耕平さん）
③3月13日(金)	未来を見据えた10代支援「高校生サバイバー」 （office ドーナツトーク・辻田梨紗さん）
④3月19日(木)	それぞれのライフサイクルにおける発達障害 （府立精神医療センター児童・思春期科主任部長・柴田真理子さん）

いずれも午後２時から４時まで。ラポールひらかたにて。定員各50名。

家族の会の予定

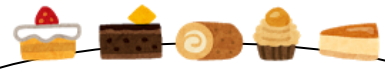
相談に来てくださっているご家族が集まり、お互いの体験を語り、聴き、聴いてもらう場です。相談員から情報や話題の提供をする時間も予定しています。

〇日にち：　２月13日（金）
　　３月20日（金）

（来年度以降も、毎月第２金曜日を基本日程とする予定です）

〇時間：14時～16時

〇場所：ラポールひらかた



ご利用の際はまずはご相談から。。。
子ども青少年課の窓口が別館５階になりました！

発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター
住所：〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20
枚方市役所別館5階・子ども青少年課内
電話：843-2255　／　FAX：843-2244